

受けましょう！大腸がん検診

大腸がん検診を 正しく理解しましょう



1

**早期発見のためには、
毎年の便潜血検査の
受診が大切です。**

もはや大腸がんは怖い病気ではありません。早期で見つかり、多くの人はほぼ完治しています。「健康だから」と思っているにも年に1回、大腸がん検診の便潜血検査を忘れずに受けてください。

3

**便潜血検査が陽性であっても、
大腸がんとは限りません。
必ず精密検査の受診を！**

便潜血検査で陽性(要精検)と判断されても、「大腸がん」だとは限りません。痔の場合もあるし、ポリープの場合もあるでしょう。かいよう潰瘍ができていられるかも知れません。「異常なし」も少なくありません。精密検査で「本当のこと」を知ることが大切です。

2

**便潜血検査には、
食事制限や通院は
必要ありません。**

便潜血検査は、とても簡単な検査です。便を専用の採便器具(採便容器)で採取し、検診機関や病院等に持参するだけ。説明書をよく読んで正しく便を採取し、持参するまでは、必ず、冷暗所に保管してください。

【便を採取する際のポイント】

- ・専用の採便器具(採便容器)に添付されている説明書通りに採便する。
- ・便を採取した容器は、検診機関や病院等に持参するまで必ず冷暗所に保管。

便潜血検査で陽性(要精検)というのは、「あなたに大腸がんの可能性が有ります」という通知です。「前に精密検査を受けたけれど異常なしだったから、今回もそうだろう」こんな声を聞きますが、自己判断で放置せず、必ず精密検査を受けてください。精密検査を受けなかったために、手遅れになる人もいます。

大腸がん検診、受けていますか。

あなたが40歳以上でしたら、年に1回、欠かさず受けてください。

あなたが40歳未満でしたら、40歳以上のご家族やお知り合いに勧めてください。

そしてあなたが40歳を迎えたら、あなた自身、必ず受けることを忘れないでください。

Q 1: 大腸がん検診って、受けたほうが良いの？
 著名な人のことがニュースになると気になるけれど、つい面倒で…そのうち忘れてしまって。

A 1: ぜひとも受けてほしい。面倒な気持ちは分かります。下痢や便秘を繰り返したり、血便があったりするわけでもないのに、なんで?って思うこともあるでしょう。でも大腸がんは40代の働き盛りから増え始めます。40歳になったら必ず検診を受けてください。

Q 2: 検便だね? 子どもの時によく受けた。

A 2: それとはちがいます。便潜血検査といって、便を採取し血液成分が混じっていないかをしらべます。異常が無い場合はふつう、血が混じることはありません。便潜血検査では、ヘモグロビンという物質を測ります。*ヘモグロビンは、酸素を運ぶ血液成分です。国は、基本的に2日にわたって便を2回採取する方法(2日法)を勧めています。1回でもひっかかったら「要精検」です。採便後に容器を保管する時は、必ず、「冷暗所」で保管してください。もし血液の成分が混じっていても、室温や日向で暖められると正しく検査できない可能性がありますので、採便後の容器保管には注意してください。

* 便潜血検査には、ヘモグロビンとともにトランスフェリンという、鉄を運ぶ血液成分も同時に測る方法もあります。

Q 3: 検診でひっかかって精密検査を受けたけれど異常がなかったって、よく聞く。同僚も言っていた。下剤をたくさん飲んでお腹を空っぽにするのも大変だったらしい。がんが見つかる怖いから精密検査を避けたい気もする。

A 3: 「要精検」なのに受けなかった人は、受けた人より死亡率が4倍高いというデータもあります。日本対がん協会の全国の支部では年に250万人の検診をして4千4百人のがんを見つけています(2017年度)。精密検査を受けた人の4%にあたります。一方で、「要精検」になった人の31%(約5万人)は精密検査を受けたかどうか不明です。この全員が受けていれば2千人にがんが見つかる計算なのですが、その精密検査ですが、便潜血検査をもう一度、というのはダメです。注意してください。

Q 4: とにかく検診を欠かさず受け、ひっかかったら精密検査、ということだね。

A 4: その通り。大腸がんは一般的に進行がゆっくりだし、早く見つければ内視鏡治療もでき、治療成績も非常に高い。検診を受ける人が倍になれば、亡くなる人だけでなく、罹患する人も減るのは間違いありません、アメリカですでに証明されつつあります。良いところは遠慮なく真似しませんか。

便潜血検査(2日法)の流れ 1~3はご自宅で簡単にできる検査です。



【便を採取する際のポイント】

・専用の採便器具(採便容器)に添付されている説明書通りに採便する。・便を採取した容器は、検診機関や病院等に持参するまで必ず冷暗所に保管。

